

平成27年（行ウ）第328号年金減額改定取消請求事件
原告 金子民夫外525名
被告 国

東京地方裁判所 民事38部A2係 御中

意見陳述書

2015年12月2日
原告 齋藤美恵子

原告の1人として意見陳述させていただきます、原告の齋藤美恵子です。

私は、1947年1月1日生まれ、かろうじて68才です。

子どもが10才の時に離婚をし、両親の介護の中、子どもを育ててきました。父を33才、母を42才で見送り、49才で子どもを何とか自立させ、子離れ、親離れを果たし、現在はそれぞれで生活をしています。

この間の仕事は、進学塾の教科書のタイプの下請け、介護の中、納期のある仕事はかなりハードでした。母を看取った後、正社員の仕事に就き7年間働きましたが、健康を害し退職、1年後にパートタイムの仕事につき、その後、NPO立ち上げの誘いがあり、中国の黄土高原に植樹を行う仕事に就きました。

ちょうど、60才になった時に変形性股関節症を発症し、5年後にとうとう手術しかないと覚悟を決め、手術から3年経過して現在に至っています。しかし、今年の9月の健診で片方の脚にも変形性股関節症の兆候があり、進行期と診断されました。身体障害者4級です。

仕事を変わりながらも、厚生年金、国民年金は納めてきました。年金受給資格の25年はクリアしなくてはとの思いです。

その頼りの年金がひどい状態になり、怒りを覚えます。

年金保険料1953億円を投じたグリンピアの売却総額は48億円と聞きました。誰が責任を取ったのでしょうか。知りたいです。

また、今年になって株の投資枠を増やしたニュースもありました。怖いです。失敗したなどと言ってもらいたくありません。

この先、何年生き延びるのか、分かりませんが、大腸や胃は経過観察と診断されていますので、不安が大いにあります。

このような状態の中、年金は下げられ、介護保険は上がるし、消費税は上がるし、物価は上がるし、どのように自衛していけばいいのでしょうか。

私の年金額は、30年間支払いをしてきて月額6万475円です。

高齢者は部屋が借りづらくなるということから、中古マンションを購入しました。家賃はかからなくなりましたが、管理費、修繕積立金月2万円の他、介護保険料8000円、健康保険料、医療費、食費、水道光熱費、通信費など1月の生活費は年金の6万円ではとても足りません。従って、不足分は苦心して貯めてきた貯蓄から補填しての生活状況です。

貯金がなくなったら、マンションを売り、ホームレスになるかな、それともそうなる前に死ぬるかな、などとゲームのような問答をしています。切ないです。

さらにマクロスライドで今後30年間年金額を減額していくことは、つまり貧乏人は死ぬ、と言わんばかりの政策としか思えません。

これ以上弱い者いじめはやめて下さい。

以上です。